

今週のビルマのニュース
2008年6月13日【0816号】

今週の主なニュース：サイクロン被災～軍政が援助活動に新たな制限、ほか

- ・軍政は5月23日に援助要員の受け入れを宣言したが、国際援助要員の入国やサイクロン被災地入りを依然として制限している。国連は、支援が届いているのは被災者約240万人のうち約130万人だとしている(11日現在)。
- ・軍政は9日、サイクロン被災救援活動についての新しいガイドラインを発表。これにより援助機関は移動や支援物資配布の許可を、ビルマの省庁やASEANの担当部署など複数の団体に申請しなければならない。このほか管区や郡を管轄する軍司令部からの許可も必要だとする情報筋もある。また外国人援助要員がイラワジ・デルタに入る場合には軍政当局関係者が帯同する。新方針が援助活動のさらなる妨げになるとの非難が人権団体などから出ている。
- ・サイクロン被災者救援のため、ASEAN人道タスクフォースの調査チーム(約250人)が活動を始めた。世界銀行とアジア開発銀行(ADB)からも計26人が参加。25日のタスクフォース会合で一次報告が行われ、最終報告は7月に出る予定。

その他：国民民主連盟(NLD)が新憲法を拒否

アウンサンスーチー氏が率いる国民民主連盟(NLD)は10日、声明を発表し、その起案過程や国民投票を通じた承認手続きが自由公正なものでなかったとして、軍政が先月に制定した新憲法を「受け入れない」とした。

ビルマへの政府開発援助(ODA) 約束状況など

サイクロン被災について日本政府は数回にわたり合計約13億2000万円の支援を表明した(詳しくはバックナンバーを参照)。また、日本から派遣されていた国際緊急援助隊医療チームはイラワジ管区ラプッタで約1200人に診察・診療活動を行い、11日に帰国した。

イベントなど

☆ハリウッド・スターとビルマの30日
ハリウッドの人気俳優が日替わりでビルマを語る!
www.burmainfo.org/solidarity/30daysforburma.html

- ・写真展「ビルマ:軍政下に生きる人びと 1993-2007」(ヒューライツ大阪、18~21日9時~)
- ・連続セミナー第2回「国籍・在留資格のない子ども」在日ビルマ人女性M氏、渡辺彰悟弁護士(在日ビルマ人難民弁護団事務局長)(早稲田奉仕園内日本キリスト教会館、6月14日14時~)
- ・映画『ビルマ、パゴダの影で』上映・山本宗補氏講演、日本ビルマ問題を考える会(なごやNPOボランティアセンター12階、14日14時10分~)
- ・「いま、ビルマで起こっていることー私たちとのつながりを考える」講師:守屋友江(京都・法然院本坊、14日15時~)
- ・アイヌ、ジュマ、ビルマの先住民族・マイノリティとともに~首都圏のアイヌ、滞日外国人の中の先住民族との出会い 2008(明治学院大学白金キャンパス本館1255室、6月15日14時~)
- ・アウンサンスーチーさんとすべての僧侶・政治囚の早期釈放を求めるデモ行進 在日ビルマ人共同行動実行委員会(宮下公園、19日14時~)
*19日はアウンサンスーチー氏63歳の誕生日。
- ・ミャンマー(ビルマ)難民支援事業現地スタッフ報告会と映画上映「ビルマ、パゴダの影で」シャンティ国際ボランティア会(JICA地球ひろばセミナールーム302、6月20日18時~)
- ・月例ビルマ問題学習会「ビルマ問題ABC~難民の日を記念して」中尾恵子氏(大阪ボランティアセンターB1F、20日19時~21時)
- ・国際人権わいわいゼミナール「ビルマ・サイクロン被害と民主化支援の課題」宇田有三氏、秋元由紀氏(ヒューライツ大阪、21日13時半~)

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース(平日毎日更新)
<http://d.hatena.ne.jp/burmainfo/>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org/>

お問い合わせ
ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165